

後発医薬品（ジェネリック医薬品）の 使用促進について

渥美病院では、患者負担の軽減、医療保険財政の改善に資するものとして、入院及び外来において後発医薬品（ジェネリック医薬品）を積極的に採用しています。

ご不明な点がございましたら、主治医又は薬剤師にお尋ねください。

（参考）厚生労働省ホームページより

後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進について

後発医薬品（ジェネリック医薬品）は、先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安くなっています。後発医薬品を普及させることは、患者負担の軽減や医療保険財政の改善に資するものです。

2021年（令和3年）6月の閣議決定において、「後発医薬品の品質及び安定供給の信頼性確保を図りつつ、2023年度末までに全ての都道府県で80%以上」とする新たな目標が定められました。

厚生労働省は、目標の実現に向け、後発医薬品の使用促進のための施策に取り組んでいます。

この内容について詳しく知りたい方は
厚生労働省ホームページをご覧ください。
右のQRコードから該当ページを参照できます。



JA 愛知厚生連 渥美病院

ATSUMI HOSPITAL